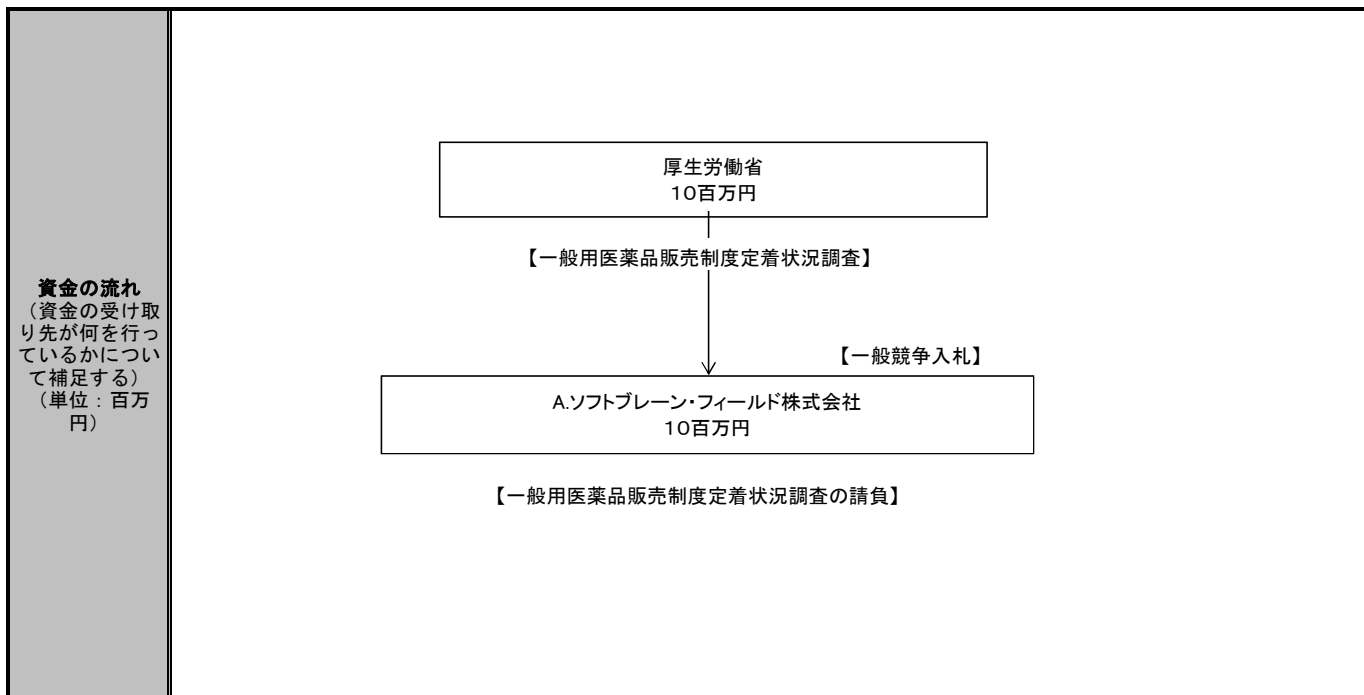


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	一般用医薬品販売制度実態把握調査事業			担当部局	医薬食品局		作成責任者			
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 鎌田 光明			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-6-2 医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	薬事法の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成18年4月18日 参・厚生労働委員会)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬機法の趣旨を踏まえ、新たな一般用医薬品販売制度の実効性を確保するため、国民の立場から改正法の遵守状況を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するため、一般消費者としての調査員を選定し、全国の薬局、店舗販売業者等を訪問の上、その店頭等において覆面で調査を実施する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	20	18	18	18	18			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	20	18	18	18	18			
	執行額		18	10	10	-				
執行率(%)		90%	56%	56%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	調査対象薬局における薬機法遵守率の向上を図る。		第1類医薬品の販売について文書を用いて詳細な説明があった割合		成果実績	%	60.7%	67.5%	71%	-
					目標値	%	55.2%	60.7%	67.5%	71%
					達成度	%	109.9%	111.2%	105.2%	-
活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	全国で一定規模を目標に、①薬局及び店舗販売業者等店舗の訪問調査、②薬局等が開設するインターネットサイトの調査、③配置による医薬品販売の調査を実施することを活動指標とする。		活動実績	店舗等	6,790	5,446	5,647	-		
			当初見込み	店舗等	6,750	5,400	5,400	5,400		
			算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
単位当たりコスト	X:執行金額(千円)/Y:活動実績(店舗等)		単位当たりコスト	円	2,613	1,909	1,813	1,896		
			計算式	X/Y	17,745/6,790	10,395/5,446	10,238/5,647	10,238/5,400		
			主な増減理由							
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求							
	医薬品審査等業務庁費	18	18							
	計	18	18							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であるため、国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	薬事法改正による新たな一般用医薬品販売制度の定着状況を把握するものであり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	改正薬事法の定着状況を把握し、医薬品販売の適正化を図ることを目的とする事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は、一般競争入札最低落札方式により選定しており、選定方法は妥当といえる。なお、今後必要に応じて仕様を見直す等、より競争性を確保してまいりたい。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	改正薬事法の定着状況を適正に把握できるよう客対数の増加に努めており、単位当たりのコスト水準は妥当であると考える。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	不用額については、入札差額が大きな要因となっている。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	入札の結果、システム開発に係る費用が大幅なコスト削減となった。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	第1類医薬品の販売について文書を用いて詳細な説明があった割合について、前年度以上となり、目標を達成しているため、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績はおおむね見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は、HPなどで公表し、各方面でご活用いただいている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	第1類医薬品の販売について文書を用いて詳細な説明があった割合は年々増加しており、調査対象薬局における薬機法遵守率の向上を図ることができている。一般競争入札最低落札方式により事業者の選定を行ったため、契約金額が大幅に下回ったため経費の節減を図ることができた。			
	改善の方向性	平成27年度以降も継続的に改正法の定着状況の把握を努めるとともに、調査対象や手法などについてより効果的・効率的な調査方法を検討する。また、調査結果を広く公表等することにより、医薬品販売の適正化を図るとともに一層の適正化方を検討する。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果も妥当であり、薬機法の遵守状況を点検・調査し、一般用医薬品販売の適正化を図るために必要な経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	205	平成23年度	182	平成24年度	151
平成25年度	177	平成26年度	191		



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.ソフトブレン・フィールド(株)					
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	医薬品販売制度実態把握調査 一式	10				
計		10	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトブレン・フィールド(株)	医薬品販売制度実態把握調査	10	2	64.2%